

滋賀県文化情報

『えんむすび』

●みなさまの応援で滋賀を元気に！

滋賀応援基金条例が昨年度に制定され、外来生物の駆除や、学習船うみのこ体験学習など、滋賀県の様々な事業に寄附金が活用されるようになりました。特に、文化振興においては、子どもたちが優れた舞台芸術に触れる「ホールの子」事業に活用させていただきま

す。さらによい事業となるよう皆様の寄附による応援をよろしく願います！

◇申込方法…インターネット(「ふるさとチョイス」滋賀県)で検索)もしくは寄附申込書による。

◇問合せ先…滋賀県総合企画部企画調整課
(TEL077・528・3313)

●美の糸(アート)にどほん!2019

親子でアートの新たな楽しみ方や、「美の滋賀」の魅力を感じて体感できるアートフェスティバル「美の糸(アート)にどほん!2019」を、今年は近江八幡市を舞台に開催します。たくさんのご来場をお待ちしております。

◇日時…令和元年10月14日(月・祝)

午前10時〜午後4時

◇会場…近江八幡市内(ヴォーリス学園、かわらミュージアム、奥村家住宅)

※会場へは公共交通機関でのご来場ください。

◇入場料…無料(一部要材料費)

◇問合せ先…

(公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部

(TEL077・523・7146)

●三井住友海上文化財団

つむぎのつむぎ 第305回

〜トルヴェール・クワレット(存)クワレット(四重奏)

With 小柳美奈子

世界最高峰のサクソフォン四重奏団「トルヴェール・クワレット」。独自のプログラムで、アンサンブルの新世界をお届けします。

◇日時…令和元年12月15日(日)

開場午後1時30分 開演午後2時

◇会場…浅井文化ホール(長浜市)

◇入場料…

〔前売り〕一般1,000円 高校生以下500円

〔当日〕一般1,200円 高校生以下700円

◇主催…長浜市、長浜市民芸術文化創造協会、浅井文化ホール、(公財)三井住友海上文化財団、滋賀県

◇問合せ先…浅井文化ホール

(TEL0749・74・4000)

※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定していません。

●滋賀近美アートのスポットプロジェクトvol.2《シンビオシス》展を開催



藤永覚耶《Transit[stone]》2018
画像提供: Gallery PARC 撮影: 麥生田兵吾

リニューアル整備のため現在長期休館中の滋賀県立近代美術館では、昨年度から県内様々な場所で、滋賀ゆかりの若手作家による新作を中心とした企画展「滋賀近美アートのスポットプロジェクト」を実施しています。第2回となる今年は、高島市安曇川町泰山寺野を会場に、石黒健一、井上唯、藤永覚耶の3名が展示をします。皆様のご来場をお待ちしております。

◇会期: 令和元年9月21日(土)~10月20日(日) 10時~17時 会期中無休

◇メイン会場: 田中邸長屋および周辺エリア (滋賀県高島市安曇川町田中4915)

サブ会場: 山里暮らし交房風結いおよび周辺エリア (滋賀県高島市安曇川町中野795-3)

◇主催: 滋賀県立近代美術館
協力: エーゼロ株式会社、田中文志
後援: 高島市、高島市教育委員会

Made in Shiga

身近に感じる「美」の世界

●映像で滋賀に、時代に、人に出会う

おうみ映像ラポ 代表 長岡野亜
広報 大藤寛子

2014年より、個人や公共施設などが所有する映像を上映し、ゲストのお話、参加者の思いや記憶を共有する「場づくり」と、個人が所有する映像のデジタル化を進める「発掘プロジェクト」などを行っています。

2018年は16、8ミフィルム映像上映会 at草津「あのとときあの場所、私のくらし」昭和10年代を中心に「」を開催。上映作品は、昭和12年、満州で戦死された若者に関わる映像で、出兵風景、満州鉄道、遺骨による帰還、草津・志津小学校での村葬をまとめたものと、昭和10年代に旧小学校教員の方々が研究会発表用に撮影・編集された映像で、子供たちの生活と学校行事、国に役立つ人となるよう強く意識させる当時の教育方針が盛り込まれていました。50年代の映像も上映し、会場の方々と昭和10年代と50年代の滋賀の様子や世の中の空気、フィルムの歴史や現状に思いを巡らせました。また活動報告書「瓦版」を制作、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

近年に実施された「暮らしアート事業」の中から地域を元気にする主な取り組みを紹介します。



活動を伝える「瓦版2018」

株式会社吉岡映像によるフィルムや修復の解説



おうみ映像ラポのメンバー
大藤寛子・藤野ひろ美・長岡野亜・大藤寛

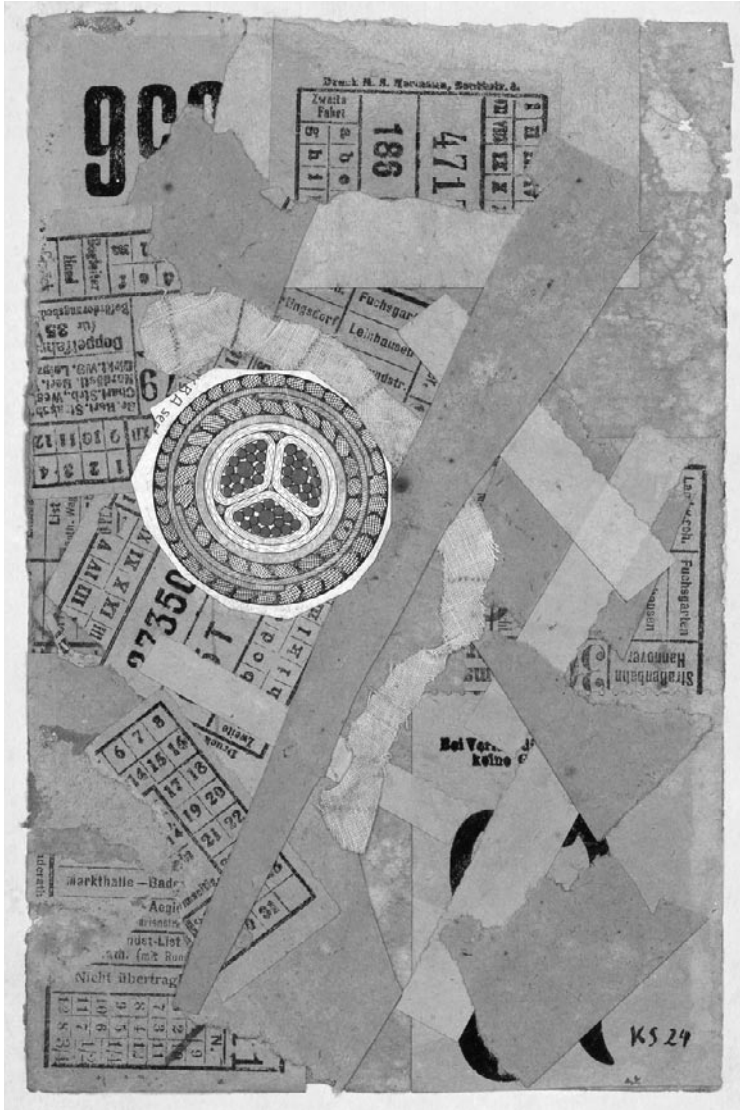
今秋は上映会を2地域で開催します。湖西では10月19日(土)午後より会場となる「白湖(はこ)」との共催で、旧高島町の民具収集や広報誌「高島の民俗」を発刊されていた、高島文化協会民具クラブ制作の歴史や技についてのビデオ作品ほか江若鉄道の映像などを上映。湖北では11月10日(日)午後10時に日吉座にて、木之本町並み研究会と共催で伊香・虎姫・伊吹高校の校章、地蔵せんべいや余呉・菊水館の広報デザインなどを手掛けた、木之本町出身の美術教師・田辺宗一郎氏(1909-1990)が残した100本余りの8ミフィルムから数本を上映予定です。

当時、大変貴重だったカメラを手にした人たちが映した世の中。それを私たちが目にできるのは、フィルムやテープなどを大切に保管されてきた個人や収集・整理を行う資料館・博物館・図書館・教育機関などの団体、技術を開発する人たちの存在があるからです。8ミフィルムなどはフィルムの劣化や映写機の生産中止などで、気軽に映像を見ることが難しくなっています。映像を修復する会社もありますので、処分される前に、私たちへ一度ご連絡ください。

映像を通じて、生活の風景、地域の行事、引き継がれてきた技術や知恵など、当たり前にあるもの、無くなりそうなもの、消えたものを再認識し、新たな出会いのお手伝いが出来ればと思います。

アートのみかた

— 滋賀県立近代美術館所蔵作品をもとに —



クルト・シュヴィッターズ「0.1.1934」
新聞紙、紙片、布、コラーージュ
滋賀県立近代美術館蔵

●晒しものにされた「退廃芸術」

1937年にミュンヘンで「退廃芸術展」という展覧会が開催されました。この展覧会では、ナチス・ドイツが道徳的・人道的に墮落しているとして「退廃的」と烙印を押してドイツ国内の美術館から押収した印象派以降の近代美術が、「晒し物」として展示されました。押収された16000点の作品のうち4000点以上が最終的には焼却処分されるなど、活発に活動していたドイツ近代美術は致命的な打撃を受けることになります。若い頃アーティストを志していたヒトラーの近

滋賀県立近代美術館学芸員 荒井 保洋

代美術に対する屈折した感情が伺えます。

クルト・シュヴィッターズ（1887～1948）は表現主義やダダイズムに影響を受け、自身が「メルツ」と呼ぶ独自の概念の下に作品を制作しました。この作品もその一つで、様々な素材を組み合わせるコラージュと呼ばれる手法で作られています。

「退廃芸術」として弾圧され、亡命先で亡くなったシュヴィッターズですが、彼の作品は戦後の現代美術にも大きな影響を与えています。

オペラ日和

●オペラへの招待 J.シュトラウスⅡ世

オペレッタ《こうもり》公演

びわ湖ホール事業部 チーフプロデューサー

館脇 昭

新年早々、1月10日(金)から13日(月・祝)までの4日間、ワルツ王として名高いヨハン・シュトラウスⅡ世が作曲したオペレッタ《こうもり》を中ホールで上演します。

オペレッタは、台詞で物語が進行し、合間に曲が挟まる形で書かれています。全曲が作曲される本格的なオペラに比べると気軽に楽しむことができます。もともとは19世紀半ばにパリで起こり、オッフェンバック《天国と地獄》が大ヒ



指揮：秋山和慶



ロザリンデ…森谷真理

ファルケ：黒田 博



ット。この人気がウィーンに飛び火して、ワルツなどウィーンならではの音楽を盛り込んだ「ウインナ・オペレッタ」というジャンルが作り出されました。

スツペ、カールマン、レハール等が優れた作品を遺していますが、その中であって《こうもり》は別格で、オペラの殿堂ウィーン国立歌劇場で唯一上演を許されたオペレッタで、ずば抜けた人気を誇る最高傑作とされています。

物語が大晦日の晩に繰り広げられる「愉快な復讐劇」であることから、毎年12月から1月頃にかけて、オーストリアをはじめドイツ語圏の主要な歌劇場で数多く上演されています。

今回の公演では、森谷真理(ロザリンデ)、黒田博(ファルケ)、山下浩司(ファルケ)といった全国で活躍する豪華な歌手を客演に迎え、声楽アンサンブルの現役メンバーにOBも加

え、魅力あるキャストで臨みます。「オペラへの招待」シリーズは、上演前に演出家の分かり易い解説があり、加えてオースドックスな演出、そして今回は日本語による上演に日本語字幕が付きます

ので、初めてオペラを見るときも安心してお楽しみいただけます。どうぞ気軽にお越しください。

オペラへの招待 J.シュトラウス作曲 オペレッタ《こうもり》

日時	2020年1月10日(金)、11日(土)、12日(日)、13日(月・祝)
	全日 14:00 開演
会場	びわ湖ホール中ホール
指揮	秋山和慶
出演	中村敬一 森谷真理、黒田 博、山下浩司、 八木寿子、二塚直紀、清水徹太郎、 林 隆史
管弦楽	びわ湖ホール声楽アンサンブル
チケッ	日本センチュリー交響楽団
	一般：5000円、 青少年(25歳未満)：2000円、 シアターメイツ：1000円 全席指定/好評発売中

●新成人を迎える方向け

特別企画のご案内

びわ湖ホールでは、新成人を迎えられる方のお祝いとして、今回の《こうもり》公演の舞台セットの前で、プロのカメラマンによる記念撮影を行います。お一人でも団体でも可能です。思い思いの衣裳で成人を迎えられたお祝いにいかがでしょうか。オペラの上演直前や直後の舞台上での記念写真撮影は、極めて特別な機会です。一生の思い出になりますので、ぜひお申し込みください。新成人に加えて、昔成人を迎えられた方も応募できます。詳しくはびわ湖ホール公式HPをご覧ください。